



## 「古着deワクチン」の取り組みを横瀬多美保さんが体験 クローゼットに眠る服や装飾品が 世界の子どもたちへのワクチンに

不要になった服やバッグ、アクセサリーなどを整理することが、世界の子どものためのワクチンや国内外の雇用につながる「古着deワクチン」。今回、スタイリストの横瀬多美保さんがこの取り組みを実践しました。

撮影 本誌 西山航 ヘア&メイク AKANE 文 安藤基樹



「自分の愛用してきたものが  
無駄にならない、誰かの役に立つのは  
嬉しいことです。」横瀬さん

衣類を手放すことが  
社会貢献につながります

不要品を手放す方法には、寄付やリサイクルショップの利用、残念ながら捨ててしまう、などがありますが「古着deワクチン」は、これらとは異なる新しいシステムのお片付け商品です。専用回収キットを購入し、衣類やバッグ、装飾品を衣類回収に詰めて連絡すると、自宅まで集荷に来てくれます。この商品の利用と送った衣類などが、子どもたちへのワクチンや、国内外の雇用につながるという仕組みです。以前から興味があったという、スタイリストの横瀬多美保さんが初挑戦しました。

「まずは、専用回収キットがコンパクトな状態で届くのがいいですね」と横瀬さん。

折り畳まれた丈夫なクラフト紙の衣類回収袋は、広げると約50cm四方×高さ75cmのビッグサイズ。上限約30分もの衣類などを詰めることができます。

「休着や流行の変化で着なくなってしまうような衣類も、その時々に一生懸命選んで購入し、愛用してきたもの。これらが誰かの役に立つと思うと、気持ちよく手放せますね」

横瀬多美保さん(よこせたまほ)  
東京都生まれ。合同会社アールLLC代表。聖心女子大学教育学科卒業。日本におけるテーブルコーディネーターの第一人者であるテックニエタキエ氏に師事。テーブルコーディネーター、インテリアスタイリストとして本誌をはじめ、百貨店やショールームのディスプレイなどでも活躍。商品開発にも携わる。



### 「古着deワクチン」で社会貢献ができます

#### 1.1口の注文で5人の子どもにワクチンを届けることができます

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)を通じ、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちにポリオワクチンが届けられます。より簡便に摂取できる、経口の生ワクチンが選ばれています。

#### 2.専用回収キットは福祉作業所でつくっています

申し込み後、2〜3営業日以内に発送される専用回収キットは、全国の福祉作業所で製造されています。この活動により、障がいがあるかたの仕事が生まれています。

#### 3.現地の雇用を促進し、売り上げの一部がワクチンになります

衣類などは、フィリピンの女性を中心に活躍するセンターで輸出準備が行われ、カンボジアを中心に世界中で再利用されます。カンボジアの直営センターでは、衣類など1点の販売につき1人分のワクチンが寄付されます。

#### 4.障がい者のアート活動を支援しています

専用回収キットの売り上げの一部は、さまざまなアートイベントやオンラインアートギャラリーを運営する一般社団法人障がい者アート協会や障がい者アーティストの支援にもつなげられます。



#### 申し込み後に専用回収キットが届きます



袋いっぱい詰めると約30分までにできるため、最終的な袋詰めは、玄関ホールでするとよいそう。横瀬さんの愛犬クロベエも、大きな袋にびっくりの様子。

申し込み後に届く専用回収キットの袋には、薄手の衣類などで約100冊を詰めることが可能。詰め終わったら、インターネットか電話で集荷を依頼すると、伝票記入不要で回収されます。1口3300円(送料込み)。



お問い合わせ | 古着deワクチン  
0120-126-316 (注文専用)  
0120-206-225 (お問い合わせ)  
土曜・日曜・祝日も受け付け可能  
9時〜17時30分  
<https://furugetidevaccine.etsl.jp>

